

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんぱつ



暖かい天気にもまれた豊原運動会が5月26日(土)に開催されました。10人の園児たちがボンボンやセンスを持ち、バブル時代に流行った「ダンシングヒーロー」を披露。会場の父兄も身を乗り出し楽しんだ運動会となりました。


JA中春別

6月号

2018 Vol. 485

毎年恒例「春のAコープ感謝祭」が5月16日(水)、17日(木)の2日間開催され、会場は賑わいをみせました。

当日は曇り空で少し肌寒い中のスタートとなりましたが、会場には多くのテナントが設営され、各メーカーやテナントが出店され、この機会に欲しかった物を求めらる人で会場は活況となりました。

新鮮な海の幸が格安で販売

また、ホタテ、ホッキ

など新鮮な海の幸が格安で販売、それぞれ10枚1000円で購入できるとあって、またたく間に完売となりました。

青年部、女性部も出店し、好評でした！

青年部では牛ロース、中春別和牛、ビーフハンバーグの試食販売が行われ、肉の焼ける香ばしいにおいに誘われ、こちらも大盛況となりました。女性部ではホットコーヒー牛乳の無料配布、女性部員さんが提案したイチゴカルピスと牛乳を割ったものにタピオカを入れた、タピオカ入りイチゴミルクの試飲を行いました。「これはすごい！イチゴミルクだね、カルピスで作れるのは新発見だね！」とお客様からも好評でした。今年のお中元新商品として「べつつかいのチーズ屋さ

ん「ゴッターフロマージュ」が15個、先行販売されました。また、試食も「濃厚でおいしい」とこちらも即売となりました。「春のAコープ感謝祭」は格安品に加え、海の幸や青年部、女性部の出店、そして各メーカー、テナントの協力もあって大いに盛り上がった2日間となりました。



多くの人出でにぎわった

「春のAコープ感謝祭」



次世代を担う酪農家が 知識向上に向けた視察をしました

青年部視察研修会

青年部の中でも30歳以下の若手で構成される青年部会（内藤俊部会長）では、酪農後継者として知識向上を図り、今後の酪農経営に活かすことを目的に5月18日（金）、（株）なかしゅんべつ未来牧場にて視察研修会を開催しました。

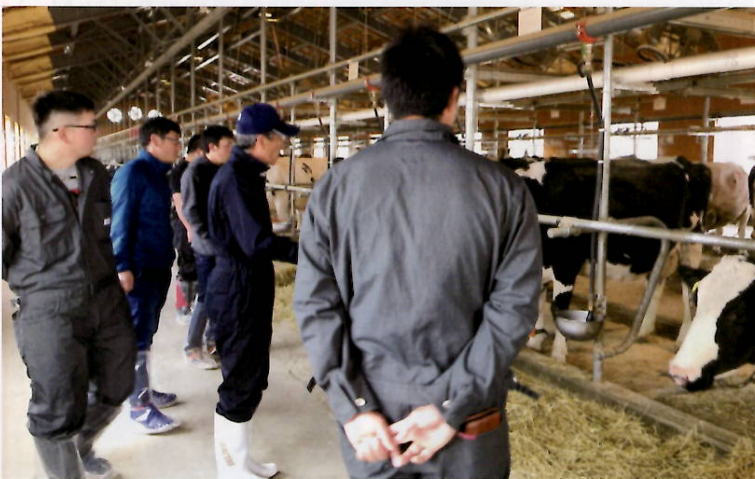
施設内や機械などを視察し、搾乳舎では搾乳ユニット、自動給飼機が導入されており、自動給飼機は指定した時間での自動走行、牛ごとに割与えられた分量での自動給飼ができるので、これにより労働力の軽減を図れております。研修生が作業を行う際は機械を使わずにエサ寄せなどの作業をするので、全てが機械



任せではなく研修としての役割も果たせています。場内施設では、間伐材と火山レキを活用した哺乳育成舎、乾乳舎を見学し、明るさと換気、牛床の良さなどといった、牛に対する配慮に部会員は関心を寄せていました。牧場の研修生は、搾乳、哺乳、育成管理、給餌、除糞作業を分担しながら行っております。

施設を見て回りながら概要説明をしていただき、青年部の一つ一つの質問や疑問に丁寧に答えていただきました。

視察終了後には、昼食を取りながらの親睦会を行い、仕事の話から趣味の話など賑やかな親睦会となりました。視察を通じて得たことを活かして、これからの営農、青年部活動に努めていきます。



焼肉を囲んで交流会!

青年部新入部員と農協職員との交流会

青年部（野矢貴志部長）では、青年部員と農協職員が交流をもつことで、円滑に営農できる環境づくりを目的に、5月19日（土）新入部員、青年部員、農協職員の交流会を別海町憩いの森公園にて開催しました。

参加された部員（うち新入部員1人）と、職員（うち新人職員4人）18人。荒交流部会長の乾杯の挨拶より交流会がスタートしました。

焼肉を囲みながら、仕事の話や



「出身地はどこ？」などとテーブルごとにプライベートな話に華を咲かせ、終始和やかな雰囲気の中で、部員と農協職員との交流を深めていました。

途中で新入部員、新人職員の自己紹介があり、今後に向けた意気込みをそれぞれいただきました。終了間際も話が尽きることなく、楽しい交流会となりました。

株式会社ゆんべつ未来牧場
**研修生
 紹介**

4月から「株式会社ゆんべつ未来牧場」へ研修生として入り酪農の実習をされ、将来、酪農の道を目指している清水総一郎さんご家族を紹介します。



清水総一郎さんご家族をご紹介します

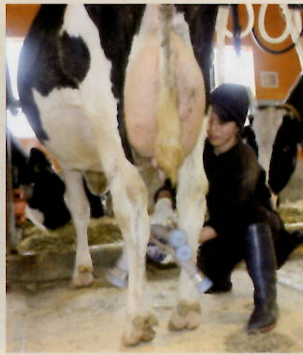
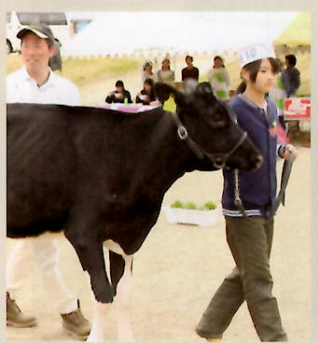
清水 総一郎 (43歳)
 大阪市出身
 趣味 単車(今は持っていない)
妻 文 恵 (48歳)
 兵庫県西宮市出身
 趣味 特になし
長女・弥 恵 (12歳)
長男・恵 一 (5歳)

Q・地域の酪農仲間たちにひと言お願いします。

A・ 広大な土地に放牧されている牛をイメージしていましたが、いろいろな餌養形態があるので、自分達に合ったものが見つけられればと思います。

Q・酪農に抱くイメージを教えてください。

A・ 新規就農に力を入れている地域であることを知り、未来牧場で新たに酪農の知識と技術を修得出来ればと思います、お世話になることを決めました。



Q・将来の希望・夢を教えてください。

A・ 皆さんには、いろいろお世話になると思いますが、今後よろしく願っています。

A・ 子供が将来この仕事を継ぎたいと思えるような酪農が出来ればと思います。



秘伝ラーメン体操で体をほぐします



豊原運動会

全力でグラウンドを走り抜ける!

走って、跳んで、 笑顔がはじけた運動会



暖かい天気にもまれた豊原運動会が5月26日(土)に開催されました。
当日の運動会には園児から大人たちまでを対象とした地域あげの各種競技が行われ、園児たちによる選手宣言で運動会がスタートしました。

会場全体で「秘伝ラーメン体操」で体をほぐし競技に移りました。

小学生から一般の100メートル走から始まり、遊戯では10人の園児たちがポンポンやセンスを持ち、バブル時代に流行った「ダンシングヒーロー」を元氣よく踊り会場の父兄も身を乗り出し楽しみました。

園児とお父さん、お母さんで息を合わせながら走る「デカパンリレー」。歩幅が合わず転びそうになりながらも、笑顔で走る親子の姿に紅組・白組関係なく応援、親子の絆が深まる競技となりました。

閉会式では園長先生



ダンシングヒーローを披露する園児たち



思わず手でパンをつかんで
しまう園児も...



豊原地区が燃えた運動会
声援と歓声が響き渡る1日でした



みんなで協力しての玉入れ



息を合わせてイチ、二...むかて競走



から園児1人ひとりに
顔写真の入った賞状が
手渡され大喜び。豊原地
区のみなさんの気持ち
が一つになった1日とな
りました。

デカパンリレーで親子の絆が
ガッチリ



サイレージの 二次発酵に注意を!

乳牛の暑熱対策が必要な季節になりました。気温の上昇は乳牛にはもちろん、サイレージにも影響をおよぼします。特に気温上昇はサイレージの二次発酵を助長します。今回はサイレージの二次発酵防止について考えてみましょう!

1、二次発酵によるサイレージの変化と乳牛への影響

①サイレージの変化

サイレージの二次発酵とは、開封後、サイレージに付着している酵母やカビ、好気性細菌などが空気に触れ、サイレージ中の糖や乳酸を消費して熱を持つことです。

二次発酵を起こすことにより、サイレージ自体の栄養成分の減少や、消化率が低下してしまいます。

②乳牛への影響

二次発酵したサイレージを給与することによって、乳牛の栄養不足や乾物摂取量の低下を引き起こします。

暑熱ストレスの影響で採食量が低下してしまう、二次発

酵サイレージを採食することでさらなる栄養不足に陥り、生乳生産性の低下や繁殖成績の悪化、乾乳牛の場合は周産期疾病を招きます。また、カビが発生したサイレージを乳牛が採食すると、カビ毒による流産や受胎率低下などにつながります。

2、二次発酵防止対策について

良質なサイレージを給与できるよに次のことに注意しましょう。

①サイレージの取り出し方法

サイレージをサイロ上部から崩すように取り出しましょう(写真1)。



写真1 上から削り落とす

タイヤシヨベルのバケットなどでサイレージを下からすくい上げるように取り出すと、内部まで空気が入りこみ、二次発酵が起こりやすくなります(図1)。

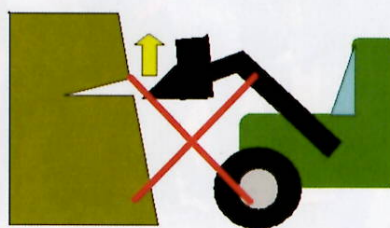


図1 下からすくい上げた取り出しは空気が内部に入ってしまう

②サイレージの取り出し量

サイレージの取り出しは、1日で奥行き30cm以上のサイロ1面を取り出せるようにしましょう。サイロ幅が広く、奥行き30cm以上の1面を1日で取り出せないと、空気にふれている時間が長くなり、サイレージが二次発酵してしまいます。もしバンカーサイロの幅が広い場合、サイレージの詰め込み高さを低く抑えたり、夏専用の小さいスタックサイロを作るのもひとつの方法です(写真2)。

③サイレージの取り出し向き

夏場の取り出しは直射日光がサイレージ取り出し面に当たらないように、北口から取り出すようにしましょう。取り出し面に直射日光が当たってしまう場合、シートを垂らしてサイレージ表面に日光が当たるのを防ぎます(写真3)。



写真2 夏専用の小さいスタックサイロ



写真3 シートを垂らして日光を防ぐ

忙しい季節となりますが、農作業事故に十分注意してください。

別海町4Hクラブ連絡協議会(酪農家青年グループ)主催の「カウカウスクール」が、5月23日(水)別海町コミュニティセンターにて開催されました。

別海中央小学校4年生を対象に、牛を通して酪農を知ってもらうことを目的に開催しております。根室改良普及センターの指導員、4Hクラブ7人の主催のも

と森友佑副会長より、「今日のは牛のことをたくさん知ってもらい、勉強していつてもらいたい」と挨拶をいただき、カウカウスクールが始まりました。

牛を勉強したら たくさんわかったよ!

仔牛への哺乳体験では(向)中山農場さんの仔牛2頭へミルクをあげます。中には初めて牛と触れ合う子もいて、最初は抵抗があったものの、少しずつ慣れていききました。終盤では仔牛がミルクを飲み干し、哺乳体験が終了しましたが、時間いっぱいまで仔牛と触れ合えるほどになりました。

モデルカウ(模型牛)を用いた搾乳体験では、牛の説明を受けた後、実際に乳を搾る体験をしました。搾り方に苦戦している子には、4Hクラブのお兄さんより丁寧に指導を受け、コツをつかんだみんなは、手際よく搾れるようになりました。

牛の勉強会ではプロジェクトを使い、牛の種類や体の構造、牛の食べ物の種類や食べる量などといった幅広い内容を、映像を用いて勉強をしました。終了後は質問をする時間を設け、児童たちから「牛にはどんな病気がありますか?」などといった、いくつかの質問があり、積極的な姿勢が見受けられました。

体験後には児童たちへ消費拡大の一環として、ファイルやノートなどが詰め合わせられた「MILK JAPANグッズ」とヨーグルトが配られ、カウカウスクールが閉校となりました。



4月17日(火)、18日(水)の2日間の日程で、中春別乳牛改良同志会女性視察研修が札幌市「新札幌乳業株式会社」にて行われました。

中春別乳牛改良同志会女性視察研修

牛乳の流通について 学びました

寄稿者 竹田 真由美

生乳をホクレンより受け入れ、加工し製品の85%は関東圏へ出荷されているという説明で、北海道では見たことがないパッケージの『のむヨーグルト』や『コーヒー牛乳』をたいへんおいしく試飲させていただきました。道内で買うことは難しいようなのでとても残念です。

商品の中では「小林牧場物語」シリーズの一部の商品は東武サウスヒルズでも販売されていて、実際に生産ラインで流れてきたものの中に見慣れたパッケージのものがあり、親近感を持って見学できました。

衛生管理ではHACCPの他に、SQF※1を取得し

ているとのことと、SQFという国際規格を知らなかったこともあり、どの説明も見学もとても新鮮で興味深い内容が多くて、楽しい研修になりました。夜はおいしい食事をいただきました。



大きなことから、参加者で懇親を深め、仕事の情報交換はもちろんショッピングやリラクゼーションなど仕事を忘れて、素敵な時間を過ごせてとてもリフレッシュできました。

帰りの新千歳空港にも新札幌乳業の製品を見つけて最後まで楽しい研修は続きました。

最後に快く送り出してくれた家族に感謝しつつ、来年もまた参加させていたいただきたいと思いました。

※ISQF「Safe

Quality Food」の略。

別海北部地区環境保全推進協議会総会

事業の進捗状況報告と全議案が可決承認される

国営環境保全型かんがい排水事業



別海北部地区環境保全推進協議会(小野榮一会長)では、5月22日(火)JA中春別農業者団地センターにおいて通常総会を開催いたしました。

開会にあたり小野会長より事業進捗状況などの報告があり、引き続き釧路開発建設部根室農業事務所の高田所長よりご挨拶をいただきました。

議長には別海ブロックの坂野下理事があたり全議案可決承認されました。釧路開発建設部根室農業事務所からは、昨年までの国営かんがい排水事業進捗状況と平成30年度の事業実施計画

について説明があり、別海町役場農政課からは太陽光発電の売電状況などについての説明がありました。平成30年度の新役員構成は次の通りです。

- 会長 小野榮一(中春別)
- 副会長 橋本明雄(上春別北)
- 副会長 中垣博志(本別)
- 理事 伊藤一吉(豊原)
- 理事 加藤真純(美原)
- 理事 坂野下貴志(別海)
- 理事 長谷川幸一(中西別)
- 理事 羽石健一(上春別南)
- 理事 多田 稔(西春別)
- 理事 石毛 剛(計根別)

乳牛の基礎となる 哺乳育成技術を学びました

中春別乳牛改良同志会では更なる酪農経営の発展を目指し、乳牛の基礎となる哺育育成技術を学習することを目的とし、4月23日(月)に標津町(株)グリーンランド標津にて平成30年度地区外視察講習会が同志会、青年部合わせ20人が参加し開催しました。



(株)グリーンランド標津は2015年10月に会社が設立され、2017年2月に施設が完成し同年4月より一貫預託受け入れを開始し

ています。グリーンランド標津はトド山地区と崎無異地区の2カ所に分かれ、今回視察したトド山地区では生後3日齢〜9カ月齢まで飼養されていました。

哺乳舎から育成舎にかけて(株)グリーンランド標津専務取締役の潮氏より各哺育ステージごとの留意点、飼養管理のポイント等を説明していただきました。参加者からも様々な意見、質問が出て有意義な講習会となったと思います。

最後に今回の開催にあたり(株)グリーンランド標津の皆様にはご多忙中、講習会を引き受けてくださり、御礼申し上げます。



良質粗飼料生産利用対策委員会(山崎浩二委員長)は5月17日(木)にシードマチック(追播機)実演会を開催いたしました。
草地の植生改善に向けて委員会では昨年より追播機械の導入に向けて協議をお

シードマチック実演会
追播で草地の
植生改善を
良質粗飼料生産利用
対策委員会



こない、中春別サブ集落(中山間)から協力をいただき、本年度シードマチックの導入をいたしました。

当日は、サージミヤワキ(株)の荻森氏よりシードマチック利用方法について説明をいただき、機械を調整後、(同)グリーンコンプレイトサービスの圃場にて実演を行いました。

2haの経年草地にペレニアルライグラス20kg/haを約2時間かけて追播しました。ディスクでうね幅12.5cmに草地を切り開き、オープナーで種子床を作った後に種を追播する機械で作業幅は3mあります。1日5000円で貸し出しをしておりますので、ご利用希望の方は(中春別マシセンター)(☎76-2117)までお問い合わせください。



中春別の環境保全に向け 多くの人々がゴミ拾い!

春別川クリーン作戦

中春別の街中を流れる「春別川クリーン作戦」が5月8日(火)に開催されました。

当農協から青年部7人、女性部9人、農協職員6人、また、今年も昨年同様に中春別小学校から87人、中春別中学校から52人の合同で行われ、多くの参加者が中春別小学校グラウンドに集合しました。

開会式では、野矢青年部



長より挨拶をいただき、春別川クリーン作戦がスタートしました。

当日は青空が広がりましたが風があり肌寒さを感じ、中春別市街から川沿いを8班体制で決められたルートを歩き、ゴミ拾いを行いました。

が行われました。各団長より、拾ったゴミの種類や量についての成果報告がありました。昨年と比べるとゴミの量も少なく、少しずつでも環境に対する意識が高くなってきたのではないかと感じられました。

最後に齋藤女性部長より挨拶をいただき、春別川クリーン作戦が終了しまし



みんながマナーを守っていつもきれいな中春別の街にしていこう!

タバコの吸い殻などといった、ポイ捨てのゴミが多く、小学生がごみ袋を持ち、中学生がそれをリードしながらゴミを拾い協力していました。

青年部、女性部、農協職員も後に続き1時間かけて環境美化をしました。

ゴミ拾いを終え再びグラウンドに集まり、閉会式



た。

1人でも多くの人々がゴミを捨てないという気持ちを持って、中春別の環境が保ち続けられることを願っています。参加された皆様お疲れ様でした。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

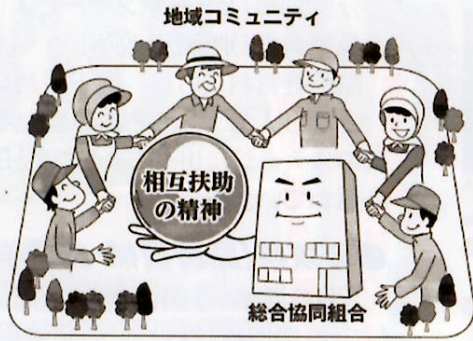
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

本会北見支所が企画し、オホーツク地区のJA広報誌を中心に好評連載中の「続・今こそJA」を、ご紹介します。

今年も、協同組合の原点である「ロッチデー原則」を再確認するほか、JAグループが取り組む自己改革のご紹介を通じて、協同組合の歴史と経過を振り返る全12回の連載としております。

組合員に限らず、JA広報誌を購読する地域の皆さんにも、私たち協同組合の成り立ちや活動を知らせてもらい、共感していただきたいと考えております。



JA北海道信連

JAバンク北海道では、スポーツ振興や地域振興の観点から、「日刊スポーツ豊平川マラソン春RUN！漫！」への協賛を行い、3年目となります。

大会ではゼッケンに「JAバンク北海道」ロゴをつけたランナーを応援するとともに、特設ブースにちよりスも駆け付け、春のワクワクもらエールキャンペーンのPRや、抽選による日本ハム戦チケットプレゼント企画を行って大会を大いに盛り上げました。



ホクレン

ホクレンは3月14、15日に、新たな販路開拓に向けて食品バイヤーを対象にした「第12回JAグループ国産農畜産物商談会」（東京国際フォーラム）に出展しました。

「北海道こめ油」や「てんさい糖」、乳製品などを幅広く紹介したほか、ポトル形状やデザインをリニューアルしたホクレンの顆粒片栗粉「とりりんぱっ」を使ったから揚げや角煮の試食を提供し、北海道の安全で安心な農畜産物や加工食品の魅力を伝えました。



JA共済連北海道

JA共済連では、今年もスタントマンによる交通事故の再現により危険性を疑似体験（スケアードストレイト技法）させる交通安全教室を、道内8つの高等学校で開催しました。

体験した生徒からは「危険を再認識した」「ルールを守り、気をつけていきたい」などの感想が寄せられました。このような活動で交通事故が減り、安心して暮らせる地域づくりに貢献していきたいと考えています。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



●【経営科】プロジェクト計画発表会

4月27日(金)に、今年度のプロジェクト活動の計画について審議する「プロジェクト計画発表会」がおこなわれました。この計画発表会は、先輩の築いてきた伝統的なプロジェクト学習活動に加え、今日的な要素としてプレゼンテーションをとおして説明する力、計画的に準備を進める力、内容をよりよくするための意見交換や質疑応答を内容の中に盛り込んでいます。



計画発表の様子

現在、畑作園芸専攻班、飼料作物専攻班、資源循環専攻班、乳製品加工専攻班の4班がそれぞれのプロジェクト活動をおこなっており、生徒の積極的な質疑と意見交換がおこなわれました。1年生も聴講するとともに物怖じすることなく先輩に研究内容についての質疑をおこない、充実した計画発表会となりました。

今後、各専攻班ともに研究を進め、冬には成果をまとめてプロジェクト実績発表大会を実施します。

●【経営科】校内意見発表大会

5月8日(火)に本校体育館にて校内意見発表大会を実施しました。



意見発表会の様子

4月中旬に各学年のクラス内意見発表大会で選出された代表生徒9人が、本校体育館のステージにて自分の意見発表をおこないました。外部審査員を含む5人の審査員の厳正な審査のもと選出された代表生徒は、6月22日に更別にておこなわれる北海道学校農業クラブ連盟意見発表大会に出場します。今回実施した校内意見発表大会の最優秀者は下記のとおりです。

分野(特類)「生産・流通・経営に関わる発表」

最優秀賞「おいしい牛乳はよい飼料から」

酪農経営科 2年 守屋 由真

分野(鑑類)「開発・保全・創造に関わる発表」

最優秀賞「笑顔のあふれるカフェ経営」

酪農経営科 3年 芳賀 奈月

分野(企類)「ヒューマンサービスに関わる発表」

最優秀賞「別海PR改革」

酪農経営科 3年 瀬下 めい

上記3人は、それぞれの想いを東北道大会本番のステージに出せるように、現在、日々の練習を積み重ねています。

●【専攻科】酪農機械・施設学

5月8日(火)～10日(木)の3日間、外部講師をお招きして「酪農機械・施設学」の講義を実施しました。この授業は、搾乳に関する手法や生理、ミルカーシステムの構造、また農作業事故が発生した時の対応についての知識を身につける授業です。

【1日目】午前の部は乳牛の快適性と飼養施設について、根室農業改良普及センター地域第一係長・齋藤太香詞様より、乳牛の飼養施設の違いによって快適性にどのような影響があるのか、牛の生態をふまえてより詳しくご講義いただきました。午後からは、最新のミルカーシステムの種類と特徴、適切なメンテナンス・洗浄方法について、北海道オリオン株式会社別海営業所所長・中谷泰久様、クリーン化学工業株式会社(恵庭市)吉田憲司様より詳しくご講義いただきました。



薬品および洗浄実験の様子

【2日目】午前の部は現場での指導をふまえた搾乳生理と搾乳

手法について、根室農業改良普及センター主査・内田幸司様より、また、午後からは最も基本的な搾乳の正しい手順、乳汁排出のメカニズム、そして、研修牧場の役割について別海町酪農研修牧場・吉田達夫場長より、具体的にご講義いただきました。

【3日目】救急救命講習(AED講習)や薬品作業中の事故対応と薬品の特徴について、別海消防署・真嶋剛様よりご講義いただきました。

3日間の講義をとおして、学生からは「搾乳に関する知識やミルカーシステムの仕組み、洗浄方法など、様々な立場の方から学ぶことで、より深く理解できた」「いざという時にAED講習を思い出してすぐに動けるようにしたい」という感想がありました。

キャンペーン
応募期間 6/1(金)▶7/31(水)



今年の夏は、チャンスがでかい。



当



みんなでおいしい北海道

ドドーンと当たる 夏キャンペーン

北海道グルメを
ドドーン!



※写真はイメージです。

年金受取

で!

JAネットバンク

で!

JAカード発券

で!

定期貯金・積立

で!

全道
合計 **3,000**名様に当たる!

◆応募条件 / お取引ごとにチャンス増!お1人様最大6回まで応募可能です。以下の対象商品①~⑤の1取引につき1回とし、組合員資格(正組合員・准組合員)のある場合にはさらに1回追加となります。

①年金(予約・新規受給・指定替え) ②JAネットバンク(新規申込) ③JAカード発券(新規申込)
④定期貯金(借入期間1年以上 / 金額20万円以上の新規借入・増額借替) ⑤定期積金(借入期間1年以上 / 契約額24万円以上の新規借入) ※①~③は、申込時点で貯金残高1万円以上の方が対象となります。※④に該当されている取引および同じ取引による2回目以降のお申込みは回数追加の対象外となります。

◆対象者 / 個人の方に限ります。
◆応募方法 / 窓口でお渡しする応募用紙に必要事項を記入し、窓口へお持ちください。
◆当選発表 / 賞品のお届けをもって代えさせていただきます(※案内は平成30年10月予定)。
※当選後の権利の譲渡、賞品の交換・換金には応じられません。
※今回お預入された定期貯金または定期積金を中途解約された場合は、当選の権利を失います。

全道JA特産品
カタログギフトから
好きなJA特産品1品
3,500円相当

抽選で
1,000名様

Wチャンス!

JA特産品1品 3,500円相当

または 農協全国商品券 2,000円分

ご希望のどちらかをプレゼントします。

外れた方
の中から抽選で
2,000名様



先着でプレゼント /
LION x CHORIS
食器用洗剤 Magica

Web
限定

QUOカード2,000円分が抽選で当たる!
口座開設キャンペーン実施中



初めてJAで口座を開設のうえ、「年金」「給与振込」「口座振替」「JAネットバンク」「JAカード(発券or決済)」のうちいずれかのお取引をされたお客様が対象です。
※応募方法など詳しくはWebをご覧ください。

JAバンク北海道

JAバンク 北海道
http://www.jabank-hokkaido.or.jp

お問い合わせ先

JA 中春別金融共済課貯金係

TEL0153-76-2314

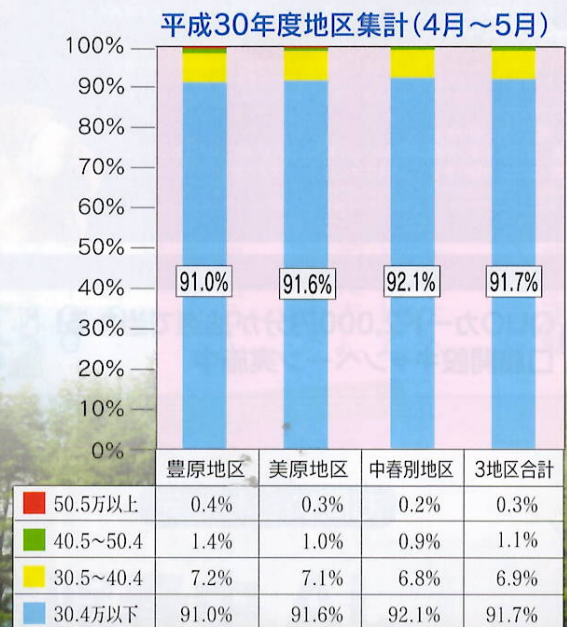
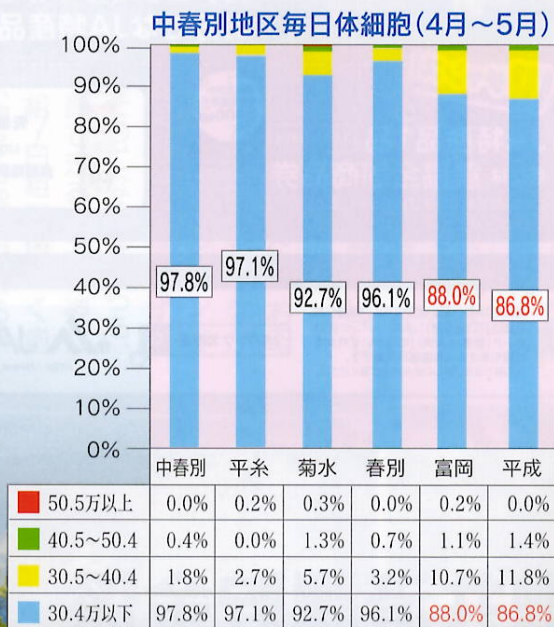
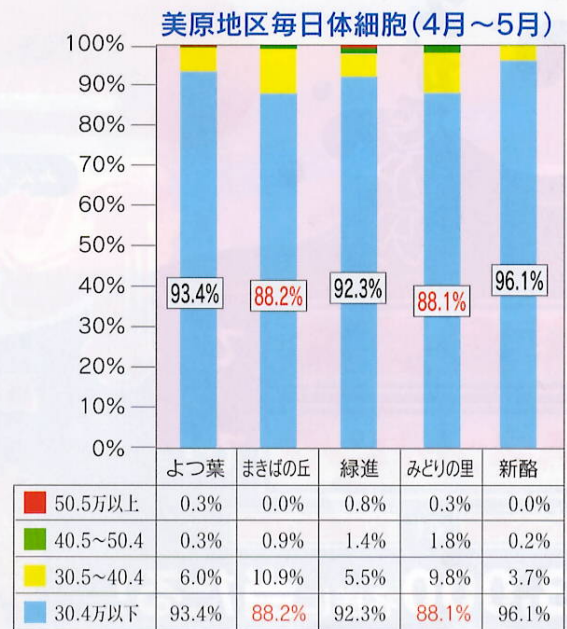
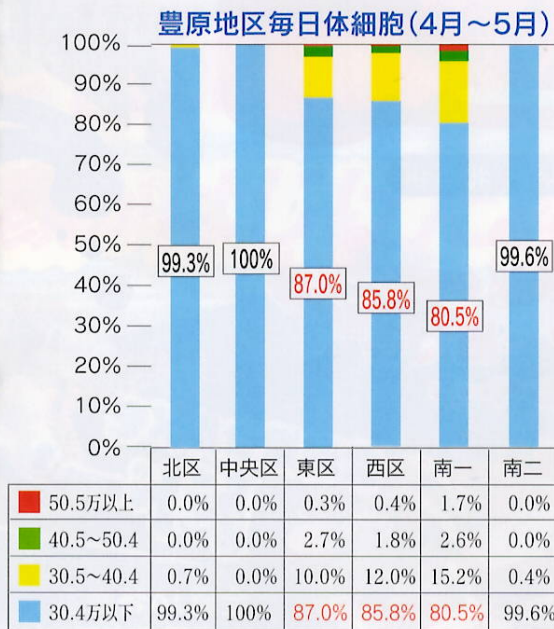


生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入、加水、血乳による汚染事故…… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

仔牛は元気ですか？ 衛生的な生活環境と清潔な哺乳で将来の 健康な牛群を支えます。

良質生乳生産推進委員からの標語



(株)オートファーム組合員がFS牛舎、搾乳ロボットを導入

平成29年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（施設整備）において、中春別地区(株)オートファーム組合員が、FS牛舎120頭規模、搾乳ロボット2

基の導入を行いました。また、最先端システムであるハードナビゲーターを導入し、疾病・繁殖管理をデータにより一括管理し、早期疾病発見及び繁殖管理の向上を目指します。

良質な生乳生産と地域の収益力向上を



牛舎の内部

当牧場では4月23日より新牛舎にて搾乳を開始しており、平井優一代表取締役より「今後とも良質な生乳生産を行い、地域の収益力向上に努め



建物全景

てまいりますので、組合員、農協を始めとする各関係機関の皆様には、今後ともご協力をいただきたい」と意気込みを語ってくれました。

4月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

4月分乳代支払単価

		単価	算出基礎	支払額	前年同期	差	項目	単価(円)/(kg) %	
乳脂肪分		918.139		36.47	36.38	0.09	乳脂肪分①	36円47銭	
無脂乳固形分		580.889		50.97	50.92	0.05	無脂乳固形分②	50円97銭	
生産者補給金		6.5670		6.57			生産者補給金③	6円57銭	
集送乳調整金		1.9390		1.94			集送乳調整金②	1円94銭	
補給金合計		8.5060		8.51	8.34	0.17	脂肪率	全道 3.97% 農協 4.06%	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	314,153,182.9kg	3.75	3.74	0.01	無脂固形分率	全道 8.72% 農協 8.72%
			0	5,249,387.6kg				成分乳価	全道 95円95銭 ①+②+③+④=⑤ 農協 96円44銭
			-3	65,257.1kg				乳質乳価	全道 3円75銭 ⑥ 農協 3円74銭
	ランク1	2	278,674,225.7kg	乳代合計				全道 99円70銭 農協 100円18銭	
体細胞数	ランク2	1	21,238,519.6kg	4,435,761.3kg			⑤+⑥	差異 0円48銭	
	ランク3	-2							
乳製品向原料確保奨励金					0.34	-0.34			
合計				99.70	99.72	-0.02			

議案

1. 平成29年事業年度行政庁業務報告書の提出について
2. 平成30営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
3. 酪農経営体生産性向上緊急対策事業(労働負担軽減事業及び酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業に係る資金の貸付について
4. 平成30年度国産チーズ生産奨励事業の実施について
5. 平成30年度乳用後継牛緊急確保事業の実施について

報告事項

1. 組合員の加入について
2. JA全国監査機構による一般監査の実施について
3. 平成29年度法人税等の納付額について
4. 固定資産の取得について
5. 牛魂祭・農作業安全祈願祭について
6. 共済一斉推進の実績について
7. JAバンク北海道夏期特別推進運動夏のキャンペーンの実施について
8. 犯罪収益移転防止法に基づく特定事業者作成書面の制定について
9. 平成30肥料年度推進要領について
10. 平成30年度4月末営農関連実績について
11. 平成30年度経営改善プロジェクト選定組合員の変更について

協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見について
2. 第44回通常総会の対応について
3. 持続可能な北海道農業の確立に向けた組織討議について



INFORMATION

食と農業を子供たちに 理解してもらう教材を寄贈

5月22日(火)
食農教育補助教材を中春別小学校と野付小学校へ寄贈いたしました。

JAバンク食農教育応援事業

の一環として、平成20年度から実施している全国の小学校5年生を対象に「農業とわたしたちの暮らし」とした教材に加えて、DVD補助教材を寄贈いたしました。

私たちの生活に欠かせない食と農業、環境と農業の密接なかかわりを意識し、理解を深めることを目的に展開しており、子どもたちがより農業への興味を持つきっかけとなることを願っております。



中春別小学校へ補助教材とDVDを寄贈しました



野付小学校へ補助教材とDVDを寄贈しました



中春別小学校の児童へ教材とDVDを寄贈しました

環境に調和した農林水産業の推進に向けて

毎年開催されています別海町主催による植樹祭が5月26日(土)に別海ふるさとの森において、多数の参加者のもと盛大に開催されました。

天候にも恵まれ、晴天の中での植樹祭となり、約180人と多数の参加者が集まる中、当地区からは組合員・職員合わせて10人が参加し、1.22haの会場に2400本のアカエゾマツの植樹を行いました。

前年よりも植樹面積と本数が増え、気温の高い中での植樹祭となり、額に汗を流しながらも、植樹を行い無事に全ての苗木を植樹することができました。



組合員の広場



作品名「牧場」中村及子さん



作品名「夕焼け」中村及子さん

今月号の組合員の広場は「和紙絵香彩会」の作品を掲載いたしました。組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・丸山までお気軽にご連絡ください。